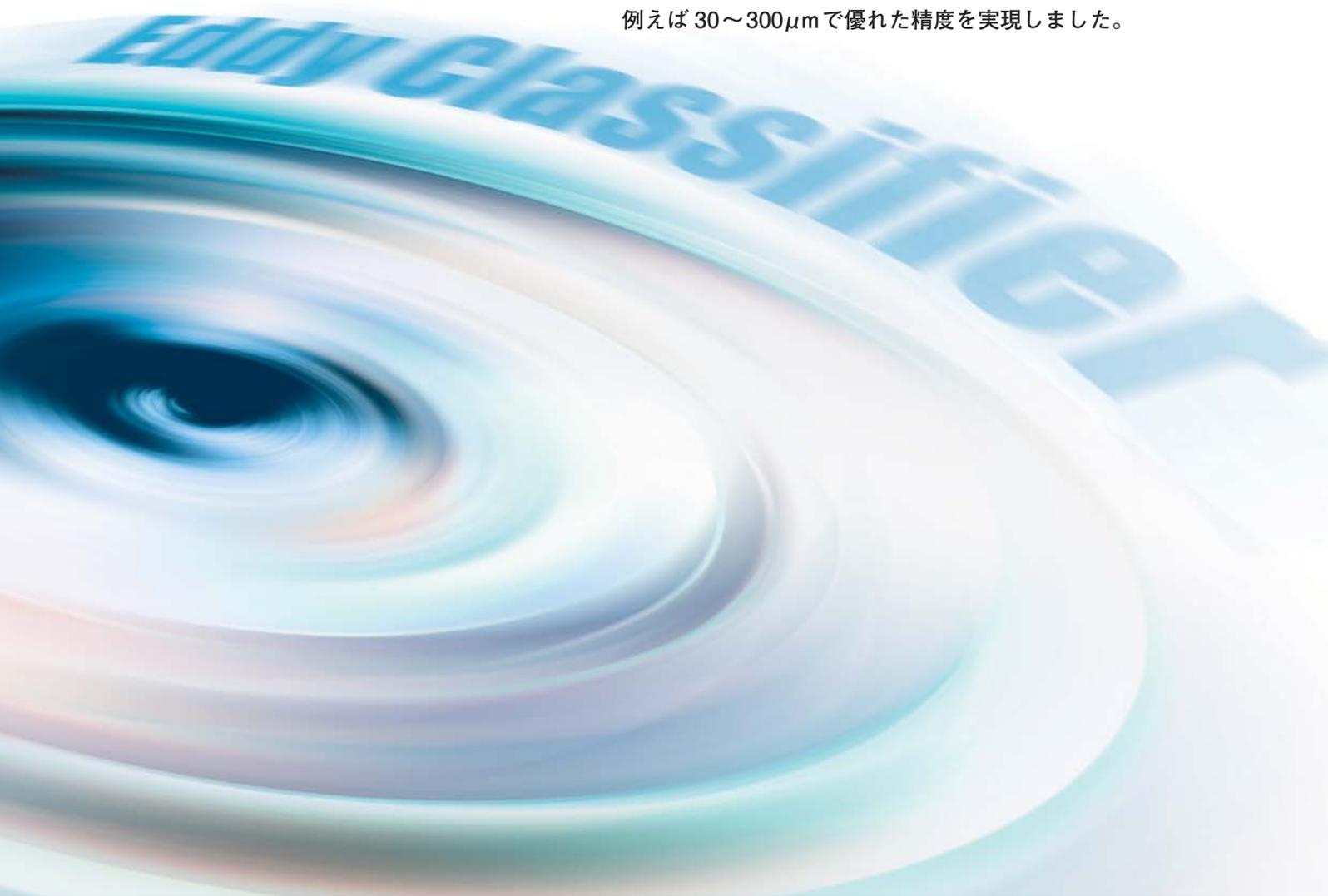


Eddy Classifier

AIR CLASSIFIER / 空気分級機

エディクラシファイアはプラスチックや食品、金属、セラミックスなど比較的粗い粒体の分級を目的に開発された小型空気分級機。半自由渦方式の採用により、遠心力強制渦方式の分級機では精度を保ちにくい粗い分級点、例えば 30～300 μm で優れた精度を実現しました。

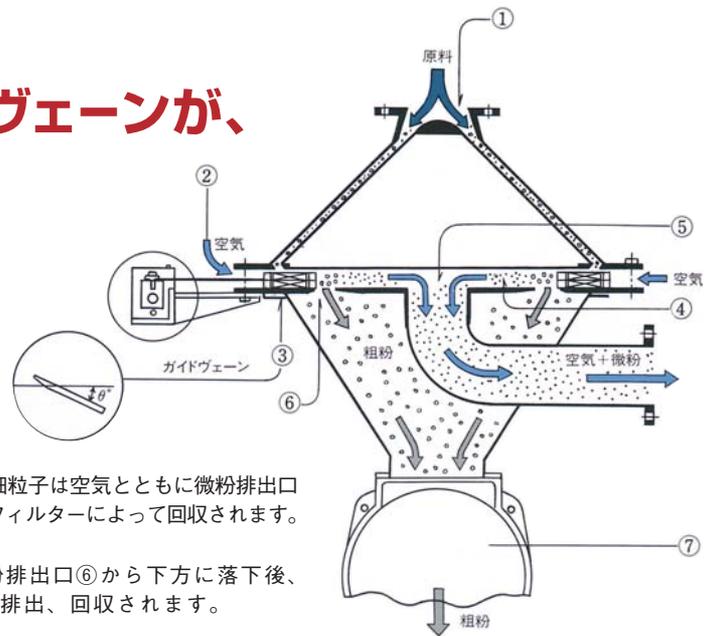


**30～300 μm 領域で高精度を発揮。
各種工業原材料の分級に最適な粗粉専用タイプ。**

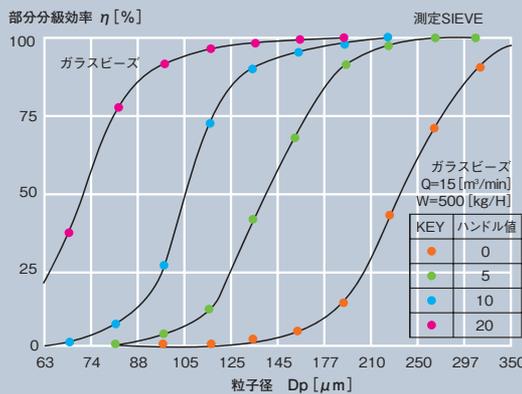
- コンパクトな設計により、設計面積が少なくすみずみ。
- 回転体をもたない構造のため、容易にメンテナンス可能です。
- 分級点の設定はハンドル操作により、簡単に行えます。回転角は詳細表示されるため高い再現性が得られます。
- 粗粉領域の専用設計により、この領域で優れた分級精度を発揮します。
- 空気流量の変化に対し分級点の移動が少ないため、安定したプロセスが可能です。
- 振動篩、超音波篩では処理が難しい付着性粉体に効果的です。
- 摩耗性の高い粉粒体用に、耐摩耗仕様も用意しています。

分級場中心に対し θ° 傾斜したガイドヴェーンが、 粗粉分級に適した 半自由渦を形成。

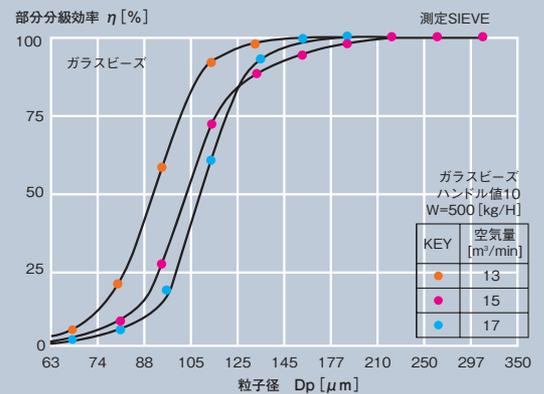
- 1 原料投入口①より投入された粉粒体は、空気吸入口②より流入した空気と共にガイドヴェーン③を通過し、分級場④に進入します。
- 2 分級場では遠心力との大小関係により、微細粒子は空気とともに微粉排出口⑤より排出され、サイクロンあるいはバグフィルターによって回収されます。
- 3 粗大粒子は分級場外周に移動し、粗粉排出口⑥から下方に落下後、ロータリーバルブ⑦により分級機外に排出、回収されます。



ヴェーン角度と部分分級効率曲線の関係



空気量と部分分級効率曲線の関係

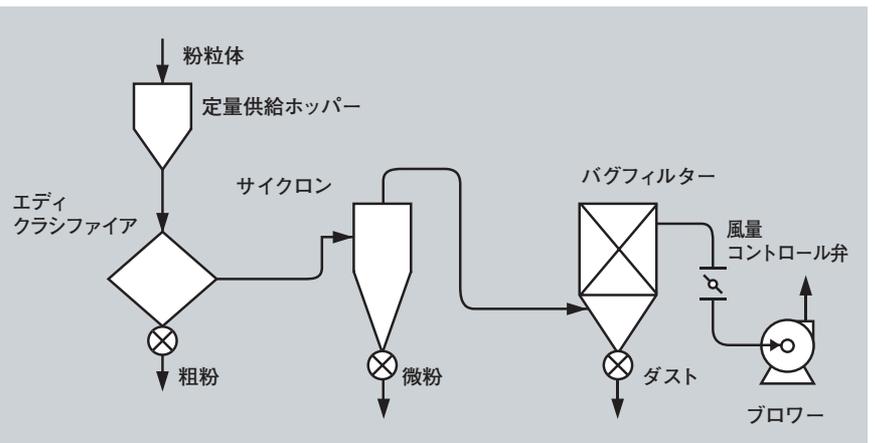


装置概要

機種	項目	分級点 Dp [μm]	標準処理速度 W [kg/H]	空気量 Q [m ³ /min]	圧力損失 P [kPa]	外形寸法 W×D×H [mm]
EC-32		60~300	300~1,000	~30	~15	800×800×2000
EC-20		30~150	50~300	~15	~25	700×700×1500

注：外觀、仕様は改良のため予告なしに変更する場合があります。 ※ロータリーバルブ除く。

標準フローシート



■ 問い合わせ



日清エンジニアリング株式会社
<http://www.nisshineng.co.jp>



EC-32型